



日新小だより

<http://www.fuchu22s.fuchu-tokyo.ed.jp/>

令和7年9月30日(火)
10月号
府中市立日新小学校
校長 山田 隼土

日新小でしかできない学び（外部との連携）

副校長 近藤 英仁

9月10日から3日間、府中第十中学校から4名の生徒が職場体験に来ました。主に低学年の教室に入り、児童補助の仕事をしました。「よろしくお願いします。」「はい、分かりました。」と受け答えがよく、一生懸命に取り組む様子は大変好感がもてました。「子供たちを見るのは大変でしょ？」と問いかけると、生徒は「はい、でも僕たちの先生たちも、同じような気持ちをもっているのかな？」と良いつぶやきがありました。



2学期に入り、5年生は東京女子体育大学と連携し、マット運動に取り組みました。大学ではICTを活用した授業研究に取り組んでいます。子供たちは学生の見本の動画と、タブレットで撮影した自分たちのマット運動の動画を見比べながら、学生のアドバイスをもとに個々の課題に取り組みました。事前と事後にアンケートを取ったので、学生たちは今後、大学に戻って成果をまとめます。

外部との連携は、外部の方が日新小に来て学ぶことの良さもありますが、日新小の子供たちや先生たちにとっても、違った視点で、いろいろな学びを得ることができ、良い刺激となります。

19日（金）に3年生はスーパーの西友に見学に行きました。店長の柳川さんが商品の説明や陳列の仕方、作業の様子を丁寧に説明してくれます。子供たちは目をきらきら輝かせながら、話を聞いていました。子供たちはお家に帰って、西友で学んだことを楽しく語ったと思います。次に西友に買い物に行くときは、お家の方に自慢げに話す子供の姿が目に見えます。

10月に入ると、1年生は第2府中保育園やひばり幼稚園と一緒に遊ぶ計画をしています。4年生は近隣の老人ホーム「フロレンスケア」を訪問し、施設の方と直接交流する計画を立てています。



外部との連携の要となっているのが、地域コーディネーターの方々です。今年は4名の方に地域コーディネーターをお願いし、地域と学校を繋ぐ役割を担ってもらっています。いろいろな施設と連携ができているのも地域コーディネーターの方々積極的に動いてくれたおかげです。

日新小では地域の協力を得て、日新小でしかできない学び、地域との連携を今後も積極的に進めています。

2年前から始まり、今年で1年ぶりに行われた英語エンジョイウィークは、「英語を楽しむ1週間」というテーマのもと、子供たちが心待ちにしていた学校行事です。この期間の一週間前からは、放送委員会の児童が通常の放送の後に英語のアナウンスを流し、「Good morning, everyone!」という元気な声から一日が始まり、「Good bye. Take care!」の言葉で一日が締めくくられるなど、学校全体に英語が自然にあ



ふれる雰囲気がつくられていました。子供たちは放送をしっかりと聞き取り、学級でも積極的に英語を使おうとする姿が見られ、英語を「特別な勉強」ではなく「日常の一部」として楽しむことができました。

全校朝会では、ヨルダン出身のネイティブ人材をタリク・エルモブラビさんをお迎えし、自己紹介を英語で披露していただきました。「名前」「出身国」「好きなスポーツ」「好きな日本食」について話していただき、子供たちは真剣に耳を傾けていました。特に「I'm from Jordan.」という出身国の紹介は聞き取りが難しかったようで、多くの子供たちが「じょーだん?」と首をかしげる場面もありましたが、日本語では「ヨルダン」と呼ばれる国であり、イスラエルの東側に位置する中東の国であると知り、世界への理解を広げるきっかけになりました。また、「I like sushi!」という紹介にはすぐに反応し、たくさんの子供たちが「すし!」と手を挙げて答えようとする姿が見られました。タリクさんが特にマグロを好んでいると知ると大いに盛り上がり、寿司が世界的に有名な料理であることを改めて実感する時間となりました。

さらにタリクさんは、体育の時間にバスケットボールの活動に参加したり、図書館で英語による読み聞かせをしたりと、授業や学校生活のさまざまな場面で子供たちと交流していただきました。その中で、子供たちは自然な英語に触れたり、異文化の雰囲気を感じ取ったりしながら、外国語を使うことの楽しさを実感していました。加えて、土曜日に行われた外国語活動では保護者の方々にも授業に参加していただき、子供と一緒に英語の活動を体験することで、家庭ともつながる学びの機会となりました。

社会科 西友見学（3年）

担当 仲村 美紀

3年生の社会科で学習している「わたしたちの暮らしと販売」の一環で、9月19日（金）に、西友を見学しました。

スーパーマーケットではどのような工夫がされているのか、なぜその工夫をしているのかを、見たり聞いたりして学びました。普段は入れないバックヤードにも入れてもらい、裏ではどんな作業をしているのか、説明を受けながら見ることができました。直接店長に質問する時間では、何が人気商品なのか、商品はどこから届くのかなどを質問し、クイズも交えて丁寧に答えていただきました。

学校に戻ってからの振り返りでは「普段お買い物をしていた西友だけど、いろいろな工夫を学べたからこれからはもっと工夫を見つけられるようにお買い物したい。」と振り返る児童が多くいました。



ラグビー体験（4年）

担当 高屋 陽央

9月25日（木）にサングリアスの選手によるラグビー体験を行いました。

始めに選手に紹介をしてもらい、その後、ラグビーボールを使った『だるまさんがころんだ』をやりました。

選手とボール回しのゲームを行ったり、実際に選手のタックルやトライを見たりできたことで、子供たちはとても大喜びでした。

ラグビーを体験し、選手からいろいろな話を聞くことができる貴重な体験になりました。

